

2020年10月16日

お客様各位

レッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社  
代表取締役社長 桑畑 卓

## フランクリン・テンプルトン・インベストメンツとの 統合・合併に関する合併契約書の締結のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

先般、ご案内の通り、レッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」）の親会社であるレッジ・メイソン・インクは、米国時間2020年7月31日付けで、フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社（以下「FTI」）の最終親会社であるフランクリン・リソース・インクに統合されました。

これに伴い、弊社はFTIとの間で統合・合併に向けた協議・準備を進めてまいりましたが、2020年10月8日付けで合併契約書を締結いたしましたのでお知らせ申し上げます。

本合併の概略につきましては、以下の通りとなります。

- ▶ 合併の方法： レッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社を存続会社、フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社を消滅会社とする吸収合併方式により、2社を1社へと事業統合します。合併後は、会社名称（商号）を変更する予定です。
- ▶ 合併の期日： 2021年4月1日を予定しております。
- ▶ 新会社の代表者： 桑畑 卓
- ▶ 新会社の所在地： 東京都千代田区丸の内1丁目5番1号 新丸の内ビルディング

統合後のフランクリン・テンプルトン・グループは1,300名を超える運用プロフェッショナルと1.4兆ドル（約151兆円）の運用資産を有することになります。フランクリン・リソース・インクの運用部門にレッジ・メイソン・インク傘下の各運用子会社が加わることで、様々なアセット・クラスにおいて、より一層幅広い運用戦略をご提供することが可能となります。

本合併に際しては、既にお客様にご投資いただいている各商品につきましては、新会社に引継がれます。運用体制、運用哲学、運用プロセス等、ならびにお客様へのサービスにつきましては、本合併により何ら影響を受けることはなく従来通り行ってまいります。

合併後の新会社は、両社の強みを活かしつつ体制強化を図ることで、より付加価値の高い資産運用サービスの提供に努めてまいります。今後もなお一層のご愛顧を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具